

# 北インドカレー

北インドカレーは日本で食べられる主なインド料理である。大きく分けて2つの料理がある。

パンジャブ料理と、ムガル料理が代表で、インド北西部と、パキスタンにまたがる地域のパンジャブ料理は、インド随一の穀倉地帯で良質な乳製品の産地でもあることから、乳製品を扱ったカレー、バターチキンなどが有名。

ムガル料理はイスラム王朝時代に作られた、宮廷料理の流れを汲む料理で、かつてのムガル帝国の厨房や中央アジアやペルシャの影響を受けて誕生した。コルマなど生クリームやカシューナッツを使った、リッチなカレーが特徴的でこってりと濃厚で油が多い。その他には、ムルグマッカーニ（バターチキンカレー）やキーママター（キーマカレー）、パラクパニール（ほうれん草とチーズのカレー）などが代表格。また、イスラムの影響により、肉料・・・・・・・・・・・・・・・・